

特別賞

特別賞は、今回の選考より新設された賞で、長年親しまれてきた作品、複数部門で評価できる作品などを表彰するものです。



大洋映画劇場

福岡市博多区中洲4-6-18

所有者：株式会社大洋映画劇場

中洲において、大洋映画劇場はその映画文化のランドマークであった。その中洲から映画館が消え、最後のシンボルであった大洋映画劇場も令和6年3月に取り壊されることが決まっている。ドアを開けると香り立つ、懐かしい匂いと、物語に出会う高揚感、そして曲線を描く外観はノスタルジーさえ感じさせながら、中洲のまちの風景の中にその存在感を放っている。



博多祇園山笠

代表者：博多祇園山笠振興会

夏の風物詩として定着している行事であり、中でも「飾り山笠」は盛夏の博多を象徴する景観との側面も強い。コロナ禍の休止期間を経た中で改めてその存在感を再確認した市民も少なくなかったはずである。これからも永く歴史を刻み続け、福岡の文化のシンボルであり続けることを期待する。

福岡市 第30回 都市景観賞

FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD

受賞作品 展覧会開催!!

六本松蔦屋書店

福岡市中央区六本松4丁目2-12F
9:00~22:00 ※最終日は15:00まで

1/19(金) → 25(木)

福岡市役所ロビー

福岡市中央区天神1丁目8-1 1F
8:00~20:00 ※最終日は17:00まで

1/29(月) → 2/4(日)

第30回 福岡市都市景観賞概要

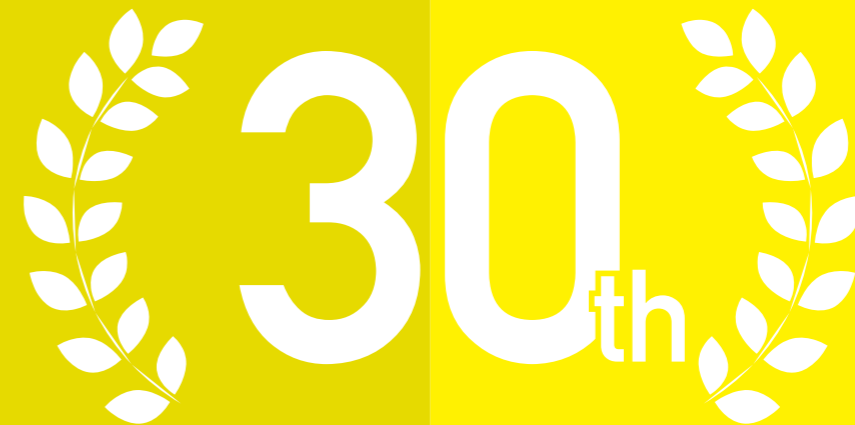
■選考委員：坂井 猛（九州大学大学院/本部キャンパス計画室 教授）、柴田 久（福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授）、西川 真水（西日本短期大学 緑地環境学科 教授）、鶴岡 哲矢（九州大学大学院 芸術工学研究院 環境設計部門 教授）、黒瀬 武史（九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授）、池田 美奈子（九州大学大学院 芸術工学研究院 未来共生デザイン部門 准教授）、伊藤 敬生（九州産業大学 芸術学部 ソーシャルデザイン学科 教授）、古賀 桃子（特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター代表）、中村 善輝（福岡市NPO・ボランティア 交流センター「あすみん」センター長）、大場 真一郎（福岡市住宅都市局 理事）

■主催：福岡市（住宅都市局地域まちづくり推進部都市景観室）

■後援：（一社）九州住宅産業協会、（一社）建設コンサルタンツ協会 九州支部、（独）住宅金融支援機構 九州支店、全九州ネオン工業協同組合、（公社）全日本不動産協会 福岡県本部、（独法）都市再生機構 九州支社、福岡県美しいまちづくり協議会、福岡県建設業協同組合、（公社）福岡県建築士会、（一社）福岡県建築士事務所協会、福岡県住宅供給公社、（公社）福岡県造園協会、（公社）福岡県宅地建物取引業協会、福岡県ゆとりある住まいづくり協議会、福岡広告協会、福岡市広告美術業協同組合、福岡市住宅供給公社、（一社）福岡市造園建設業協会、（一社）福岡市土木建設協力会、（公財）福岡市緑のまちづくり協会、福岡設計協同組合、（公社）日本建築家協会 九州支部、（一社）日本建築学会 九州支部、（公社）日本造園学会 九州支部、（特非）日本都市計画家協会 福岡支部、（公社）日本都市計画学会 九州支部、風景デザイン研究会、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会 九州支部

- 大賞
- 市民賞
- ランドスケープ部門賞
- 建築部門賞
- 広告文化部門賞
- 活動部門賞
- 特別賞

受賞作品



公式サイト「トットコ」

福岡市都市景観賞の取り組み、受賞作品をご覧ください。
<https://tottoko.city.fukuoka.lg.jp/>



公式Instagram

ぜひ「福岡市都市景観賞」をフォローしてください。
@fukuokashi_toshikeikansyou



発行：福岡市住宅都市局地域まちづくり推進部都市景観室（福岡市役所4階） 発行：令和5年12月
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1 TEL:092-711-4589 FAX:092-733-5590

第30回 福岡市都市景観賞

選考総評

福岡市都市景観賞は、都市景観の形成に寄与していると認められる建築物、工作物、その他の物件の所有者、設計者、施工者、その他関係者を表彰することにより、都市景観の向上と市民の都市景観に関する意識の高揚を図ることを目的としています。

令和5年7月5日から8月18日まで公募したところ、市民の皆様から300件以上の応募があり、委員の書類審査によって22件を選定しました。委員会で候補の視察を行ったうえで11月13日に最終選考に臨みました。

そのなかで「鳥飼八幡宮 式年遷宮」は、伝統的な様式に現代的な空間を加え、茅の量塊感、巨石の石柱などによる新しい神社空間を創り出しています。遷宮に当たり、過去から未来につなぐ景観を醸成していること

を高く評価し、「大賞」を贈ることとなりました。

選外となった応募の中にも多くの名作がありました。最終選考委員会では、各候補の採点をしたうえで、席上で委員全員に各候補の評価を求め、なるべく多くの時間を使い議論したうえで、各賞を決定することができたと思います。

これからもアジアをリードする福岡の都市景観に相応しい、優れたランドスケープ、建築、広告、活動が数多く生まれることによって、福岡市が発展することを願っています。

福岡市都市景観賞選考委員会委員長 坂井 猛(九州大学教授)



ランドスケープ部門賞

ボタニカルライフスクエア

福岡市中央区小笹5-1-1

所有者：公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
設計者：アトリエサンカスケール株式会社
施工者：パナソニック建設エンジニアリング株式会社

ボタニカルライフスクエアは、瀧光夫デザインの展望台を背景に、存在を大きく主張することなく、植物園の風景と一体となるように配置されている。水平ラインを基調に、開放性は高く、屋上は緑化され、人々を展望台やカフェまで呼び込むように、施設の中や裏側にまで配慮して道を通し、植物園の樹々や草花のように風景の構成要素となっている。



(c)GION

建築部門賞

010 BUILDING

福岡市博多区住吉1-4-17

所有者：株式会社Zero-Ten
設計者：CLOUDS Architecture Office
NKS2アーキテクト+中原拓海建築設計事務所JV
施工者：株式会社佐伯建設

福博をつなぐ那珂川の水辺に位置する010 BUILDING。日米の建築家の協働により実現したらせん状の外装が、昼夜連続的に変化し福岡の水辺に新たな魅力を生み出した。閉鎖的な大空間であるシアターを上階に持ち上げ、地上階に水辺とまちをつなぐ豊かな公共領域を創出したことも高く評価された。



鳥飼八幡宮 式年遷宮

福岡市中央区今川2丁目1-17

所有者：宗教法人鳥飼八幡宮
設計者：一級建築士事務所 二宮設計
施工者：アスミオ、株式会社



(c)Noboru Inoue

福岡市中央区にて1800年の歴史ある神社の本殿・拝殿の建て替え計画。伝統的な様式だけでなく、現代的な空間を付与することで新しい都市景観を生み出している。拝殿では、日本民家の屋根に用いられる「茅」を壁全面に用い、その量塊感が「天の岩戸」のような原初的な空間

を思いおこさせる。また、巨石による石柱が内部空間を壮大な神殿にしている。これまでにない全くユニークな神社のあり方で、千年単位の時間を見据え、過去から受け継ぎ未来につなぐ素晴らしい景観を醸成しつつある点が高く評価された。



市民賞

福岡大名ガーデンシティ

福岡市中央区大名2丁目6-50

事業者：大名プロジェクト特定目的会社(積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社、西部ガス株式会社、株式会社西日本新聞社、福岡商事株式会社)

設計者：久米設計・醇建築設計共同企業体(株式会社久米設計九州支社、株式会社醇建築まちづくり研究所)

施工者：清水・鴻池・積和建設九州特定建設工事共同企業体 古賀・内山・岐阜<大名>建設共同企業体

旧大名小学校の記憶を受け継ぎ、既存樹木を活かしながら、地下駐車場がある難条件のもと高木を植栽、囲む建築壁面への緑化も積極的に実施。大名地区にこれほど豊かな緑の空間を創りあげた功績は大きい。中央の人工芝広場では多くの人々が休憩する様子が見られ、市民投票数最多の市民賞は当然であろう。



広告文化部門賞

Tenjin Tree Vision | マリンワールド海の中道 アザラシTube

福岡市中央区天神2-22 西鉄福岡(天神)駅構内

所有者：株式会社海の中道海洋生態科学館
企画者：株式会社西鉄エージェンシー
制作者：株式会社VSQ

日々進化を遂げるOOHメディア。今回のマリンワールドの広告は、円筒形デジタルサイネージの特徴を上手に活かし、まるで柱そのものが水槽になったような臨場感を作り出すことで、人々を惹きつけ楽しませ、そして広告であることを忘れるくらい、都市景観の中に癒しの場を創出することに成功している。



活動部門賞

室見団地みらいえ

福岡市早良区南庄5-3-2

代表者：室見第一住宅管理組合
協力者：九州大学 田上研究室

合意形成を図るにあたり多様な見解を包摂しながら対話を促進することを主目的としているとのことで、その狙いに即してオープンな空間づくりに工夫が凝らされている。可動式という点もユニークであり、今後は団地内外でゆるやかに地域に思いを寄せるきっかけを創る空間となることも期待する。